



い向いた「まちづくり」をとも

NPO法人気仙沼まちづくりセンター 寄稿・気仙沼まちづくり支援センター長

設立され、以降、官民パートナーシッ づくり事業を行ってきました。 プによるまちづくりを目指してまち う認識から、二〇〇〇年に当法人が える市民参加への変革が必要だとい と行政が対等な関係で力を発揮し合 すい街を作っていくためには、市民 気仙沼市において豊かで暮らしや

いち早く必要な情報を

中心に放送しています。 沼地域の生活情報や市からの情報を がありました。現在も継続して気仙 を設立。情報伝達の手段が限られた して「けせんぬまさいがいエフエム 日には、いち早く臨時災害放送局と 震災直後の二〇一一年三月二十二 正確な情報の周知を行う必要

ティFM化も視野に入れながら活動 なるような放送を目指してコミュニ な情報を地域に伝え、住民の支えと は、復興していく気仙沼の姿・正確 「けせんぬまさいがいエフエム」で

三年目に成すべきこと

総合マネジメント事業」の業務委託 う「平成二十五年度まちづくり支援 ター」を六月に開設、 るため「気仙沼まちづくり支援セン 化してきた復旧・復興の円滑化を図 を受けました。 震災後三年目となる今年度、 気仙沼市が行 本格

としています。各々の協議会へ専門 この事業は、市内各地区で行われ いる防災集団移転の促進を主目的



▲6月に開設された「気仙沼まちづくり支援センター」(2階)

が担い、各種行政関係機関との連携 れています。その運営支援を当法人 沼NPO/NGO連絡会」が開催さ 月から毎週、市内外の支援団体・行 化をよりいっそう図っていく必要が 撤退を見越し、 検討と課題解決にあたっています。 を強化し、全市的に行うべき項目の 政・社会福祉協議会・企業との情報 これからは外部支援団体の減少・ 連携の場となっている「気仙 地元団体間の連携強

ます。 機能を強化することになりました。 進めるため、市民、NPO、企業、 る気仙沼のまちづくりを官民一体で 同時並行で以下の事業も進めていき 行政のつなぎ役として中間支援組織 さらにこの委託業務と関連して、

震災復興計画及び地域づくり推進

まちづくり情報の提供・整理

業界団体間のネットワークの構築 地域住民、支援団体、 専門家、

を深めるための勉強会開催 行政のまちづくりの計画の理解 など

化し、気仙沼全体で行われているま ポータルサイトによって情報を可視 としては、FM事業との連携のほか て行く予定です。 ちづくり情報をわかりやすく発信し 市民や関係団体間の情報共有手段

持ってこ 誇りを んだ」と でいたい

また、気仙沼では二〇一一年七

家を派遣するとともに、長期にわた

塚本卓

す。 あると考えています。 そして未来へ

を抱えています。 らしを営めるのか、 も、どうすればお互いに住み良い暮 な住民を受け入れることになる地域 今、『まち』は大きく変わっていま 移住を余儀なくされた人も新た それぞれに不安

が大切であると考えます。 さを活かしたまちづくりを行うこと ながらも、 はなりません。今の暮らしを確立し 心して住む事の出来る場所でなくて ミュニティは、世代が変わっても安 を見据え、「海と生きる」気仙沼らし これから各地に出来る新たなコ 歴史文化を踏まえ、

「ここが良いんだ、このまちに住ん

きます。 進して りにまい まちづく れからも 指し、こ 仙沼を目 ような気 ができる きること の地に生 NPO法人気仙沼まちづくりセンタ

気仙沼まちづくり支援センタ

〒988-0053 気仙沼市田中前4-1-8 吉田ビル2F ●TEL:0226-25-7801

- FAX: 0226-25-7802
- ●E-mail:kesennuma.machicen@gmail.com
- ●URL:近日開設予定



地域にこだわるラジオづくり

●NPO法人エフエムなとり

中が「通常」へと移りゆくなか、各地 も「臨時」のものであり、 え始めています。 ニティFMに移行するか、あるいは の臨時災害放送局は自立してコミュ 臨時災害放送局。これらはあくまで 「閉局」するか、それぞれの進退を考 震災をきっかけに各地に誕生した 次第に世の

つです。 取市の臨時災害放送局「なとり災害 FM」(以下、 下、エフエムなとり)が運営する名 NPO法人エフエムなとり(以 なとらじ) もそのひと

臨時災害放送局開局

かけました。 かと、臨時災害放送局の開局を呼び 市のために役立てられるのではない 送技術を、ラジオ局を持たない名取 である若生毅弘さんです。自身の放 京にある放送関連企業の代表取締役 名取出身のテレビ放送技術者で、 なとらじ開局に力を尽くしたのは 東

定でしたが、大規模余震の発生によ 初めは二〇一一年四月十日開局予

> ランティアも加わりました。 り、予定を繰り上げて七日に開局し、 放送を開始。運営には社員や市民ボ

の情報も流しました。 物資支援の情報のほか、 から午後五時までで、避難所、給水・ 放送時間は現在と同じく午前九時 県や市から

た』という声が寄せられた時は、やっ てよかったと思いました」とエフエ 「『ラジオ局ができるのを待ってい



▲生放送の状況を再現してくれたスタッフのみなさん

コミュニティFMへの期待

ニティFMの免許を取得するにはあ

臨時災害放送局とは違い、コミュ

した。 る北村有紗さんは当時を振り返りま ムなとり理事兼アナウンサーを務め

市民が担うラジオ局に

り設立が進められ、法人認証を受け たのは昨年八月のことです。 う名取市としての方針もありまし FMとして運営するのであれば、名 えていました。そしてコミュニティ ことで、震災後も存続させたいと考 た。このような経緯でエフエムなと 取市民からなるNPO法人で、とい らじをコミュニティFMに移行する 関係者は臨時災害放送局であるなと 名取市をはじめとする、 なとらじ

話しています。 日々市内の情報を発信中。エフエム たスタジオから、 しでも元気になってほしいです」と 上げることで、被災者の皆さんに少 興市場や各地域のお祭りなどを取り 接的な復興支援はできませんが、復 なとり理事長の中澤勝巳さんは「直 番組「なとらじWIDE」を中心に、 りがなとらじの運営を受託していま 昨年九月からは、エフエムなと 現在は名取市役所の七階に作っ 平日昼の生放送

前進です。 らじへ、復興 なとらじから す。 「臨時」 の んは決意を新 に向けて一歩 「平時」のなと たにしていま

す」と中澤さ

NPO法人エフエムなとり

⊤981-1292 名取市增田字柳田80

- 名取市役所7F TEL: 050-7544-8888 FAX: 022-774-1953
- DURL: http://fmnatori.doorblog.jp

です。 ません。試算では、設備の維持費や するという市民の期待があったから 取に新たにコミュニティFMが誕牛 た。これまでラジオ局がなかった名 は補助してもらえることになりまし 円が必要になります。幸い、エフエ 運営費のために、年間約三〇〇〇万 る程度の収入見込みがなくてはなり ムなとりの場合は市から当面の資金

省の審査を待つのみです。 音仕様に改装済み。後は機材を運び 入れ、免許発行を管理している総務 て、なとらじはスタジオを移ります。 市所有の倉庫を借り受け、すでに防 コミュニティFM移行にあたっ

域に出て行って情報収集にも努めた れまでの姿勢はやや『受け身』だった 市民から愛される放送局を目指しま いです。より一層地域にこだわり、 かもしれません。今後は積極的に地 コミュニティFM化を前に、「こ

NPO法人都市デザインワークス

まちづくりを支援しています。 を活用し、地域の復興と市民主体の た、様々なまちづくりの技術や手法 人設立以来活動を通じて蓄積してき (以下、UDW)は、二〇〇二年の法 NPO法人都市デザインワークス

復興計画から見えること

原進さんは、そう振り返ります。 災状況の情報収集にあたりました。 支援の形があるはず。」代表理事の榊 けれど、私たちでなければできない 「物資等の直接的な支援はできない 震災発生後、UDWは、すぐに被

ワークショップも開催しました。 報をもとに、『震災復興計画の整理 で分かります。UDWはこれを活用 で各自治体の復興計画の特徴が一目 に分類し、それぞれを比較すること ました。宮城県と仙台市を含む沿岸 を作成しホームページなどで公表し 体が策定した復興計画や収集した情 十三市町の復興計画をカテゴリー毎 その一つとして、 支援活動を行う団体に向けた 被災した各自治

> 供しました。 能性に気づいてもらうきっかけを提 体が持つ役割や、行政との連携の可 団体がどの地域でどんな活動をして いるかを確認し、復興計画の中で団

南蒲生 復興まちづくり計画

月から復興まちづくり計画に向けた うど南蒲生の住民からも相談を受け 復興まちづくりの支援も続けていま 住民同士の話し合いが始まります。 ていたことが縁です。そして昨年一 づくりの支援を打診された時、 UDWは仙台市宮城野区南蒲生の 仙台市から被災地域の復興まち ちょ

状況は様々でした。 帯は区域外とされたのです。 三〇世帯は災害危険区域、二六〇世 に向けては、地域を分けるように、 業集落でした。津波被害からの復興 南蒲生は、約二九〇世帯が暮らす農 雑な状況にありました。震災以前の 南蒲生地区の復興にあたっては複 の支援内容が異なり現地に残る 移転をするかで住民の置かれた ゚それぞ

> 明治・昭和の古い資料を参考に歴史 力をしてきました。UDWはその思 のアンケートや報告会なども行い 集まって、 見も後押ししました。 を振り返った地域資源や魅力の再発 いに耳を傾け、意見の整理・分析や、 より多くの住民の思いを汲み取る努 以上開催しました。また、 りに向け、 「復興部」を発足させます。 それでも地域主体の復興まちづく ワークショップや会議を六十回 町内会の下部組織として それぞれの立場の住民が 全住民へ 復興部で

基本計画」は完成します。 目標とする「南蒲生復興まちづくり そして今年三月、『新しい田舎』を

実行、 新しい田舎づくり

くコミュニティ全体を囲む拠り所や した。今度は、個々の家だけではな 囲う立派な屋敷林=居久根がありま けの材料として屋敷の周囲を木々が 根の再生を目指しています。 癒しの場として新しい価値観で居久 仙台平野には、古くから防風や焚付 その一つが『居久根』。南蒲生を含む 『南蒲生らしさ』です。そして、 の復興計画に欠かせないもの

今後は、 手NPO等支援事業にも採用され 調査も始めました。宮城県復興担い 居久根』と呼び、早速、 そんな新しい居久根を『みんなの 住民の意見を伺いながら まち歩きや

> り組んでいます。 の手で『みんなの居久根』づくりに取 地で苗木などを植樹して、自分たち 住民らも六月には、南蒲生公会堂跡 観ガイドラインづくりを進めます。 生態系や造園、 に『みんなの居久根』のイメージや景 建築の専門家らと共

蒲生の復興。 居久根をシンボルに歩みだした南

原さんは今後 きたい」と榊 ポートしてい いけるようサ 的に取組んで 住民が主体 のまちづくり 「長いスパン を見据えてい NPO法人都市デザインワ

〒980-0802 仙台市青葉区 二日町6-6-903 TEL: 022-264-2405 ●FAX: 022-796-0080 ●E-mail:info@udworks.net DURL: http://www.udworks.net



「みんなの居久根」プロジェクトの調査をかねた、南蒲生 歩きの様子



(他の農業復興を目指

般社団法人ReRoots

も毎月約一〇〇〇名のボランティア 内コミセン)に避難したメンバーが 内コミュニティセンター(以下、 を受け入れながら、農業を基盤とし 区荒浜のボランティアハウスで現在 ReRootsを結成。仙台市若林 二〇一一年四月にボランティア団体 た地域おこしを行っています。 東日本大震災で仙台市青葉区 Ш Ш

避難所で生まれたボランティア・

自発的に活動を始めました。一週間 落ち着く三月末まで、 いため、ボランティアたちは状況が 場所もなく、 合。しかし、 避難所運営ボランティアグループが 乱した状況の中、学生を中心とした 川内コミセンは別の避難所に統 内コミセンでは、 ガソリンも手に入らな 川内には買い物をする 被災直後の混 川内コミセン

ました。 配給を続けてい を物流拠点とし 帯に水や食料の 約三〇〇世

▲代表の広瀬剛史さん

は、 将来の生活再建という視点が足りな 各地から駆けつけた民間のボラン 行う受け身のボランティアセンター り、物資の運搬、泥出し、瓦礫撤去 ランティアを開始しました。名簿作 ターが開所すると、すぐに個人でボ 力に目を見張りつつ、その支援には ティアグループのスピード感や行動 の活動に限界を感じます。同時に、 などを行いましたが、依頼を受けて たReRoots代表広瀬剛史さん い印象を受けました。 当初川内コミセンに避 自宅と川内コミセンを往復しな 仙台市のボランティアセン 心てい

めます。 活再建に重きを置いた支援を考え始 こうして、自発的かつ被災者の生

活動は被災者の目線で

活以降交流を続けていた学生ボラン ティアたちに声を掛け、一緒に津波 ようになりました。 被災地へのボランティアに出かける 広瀬さんは川内コミセンの避難生

> 活していけますが、農家の多い若林 うことに気付きます。「勤め人が多 いう現実が見えてきました。」 できなければ生活の再建は難し 区東部などの地域では、 づけが終われば、職場に復帰して生 く住む地域では、 すると、 地域によって震災後の様子が違 同じような被害を受けて 家の瓦礫撤去と片 農業が再開 いと

> > ランティアハウスができたという情

ティアハウスをオープンします。

報は口コミを通じて各地に伝わり、

法人として法人化しました。 tsを結成。昨年十月には一般社団 と農家を支援する目的でReRoo そして四月十八日、若林区の農業

地元から信頼される支援を

資材を集め、 ことを決め、 自分たちでボランティア拠点を作る アセンターが閉鎖しました。そこで、 六月になると若林区のボランティ 農家から土地を借り、 七月十六日にボラン



を目指していま

じたまちづくり

若林区荒浜にあるボランテ

開催しました。 畑での作物の栽培や、 めどをつけ、 ため昨年からひまわりを植える「ひ しの仲介も行いました。 休農地を活用した市民農園の貸し出 林区復興支援ショップりるまぁと」 被災地支援に加え、自らが運営する える支援をすることになりました。 その後の一年間だけで三〇〇件を超 で被災農家が作った野菜の販売、 ムに分かれ、 現在は、学生五十名が四つのチー 「復旧支援は、 さらに、被災地に彩りを取り戻す 被災した農家を支える

仙台朝市「若

遊

年八月には初の「ひまわりまつり」も まわりプロジェクト」を展開し、 緒に農業・コミュニティ・ 今後は地元の農家と一 二〇一三年一杯で 景観の再

般社団法人ReRoots

緒に農業を通

〒984-0033 仙台市若林区荒浜字今泉59-3

- ●TEL: 022-762-8211
- ●E-mail:reroots311@yahoo.co.jp DURL: http://reroots.nomaki.jp

ボランティアと

合わせ、

多くの

農家と学生が力

い」と広瀬さん。

を進めていきた

スに地域おこし

災の確立をベー

生、そして、

防



がオープンしました。 地域のポータルサイト「巻.com」 きNPOセンター)が運営する石巻 きNPOセンター 今年の五月、NPO法人いしのま (以下、いしのま

活動をしてきました。 また地域住民とNPOを結びつける めた地域のNPOの活動を支援し、 巻市を中心に東松島市、 巻地域のNPO中間支援組織として 1000年に設立され、 いしのまきNPOセンター これまで石 女川町も含 · は石

石巻の新たな魅力として

たNPOや行政も含めて、どのよう づくり団体、震災支援で石巻に入っ な被害を被りました。 そこで震災以降、石巻市内のまち 石巻は東日本大震災によって甚大

いしのまき街なか創生協議会」(以 に誕生したのが、「コンパクトシティ 議論の場として二〇一一年十二月 街なか協議会)です。いしのま

るようになりました。

に石巻の街を立て直すかが議論され

ての意見を発信してきました。 きNPOセンターも副代表理事の木 に関わり、NPO中間支援組織とし 村美保子さんを中心に街なか協議会

を感じ、 ます。 議会ではこの事実に注目しました。 まった人々も多くいます。 ティアが石巻を訪れたと言われてい 震災後、のベ三十万人ものボラン 震災を機に石巻と関わりを持つ また、その中には石巻に魅力 そのまま住民票を移してし 街なか協

えられました。 を融合させること。これらは復興し らうこと、そして新しく石巻市民と させず、今後も関心を持ち続けても た石巻の新たな魅力となりうると考 なった人々と元々石巻に住む人々と ようになった人々との関係性を風化

B上のポータルサイト は、 ぐことを目指します。 関心を持つ世界中の人々を「巻き込 プロジェクトは、石巻市民と石巻に m」プロジェクトです。「巻.com こうして生まれたのが「巻.co 巻き込まれる仲間」としてつな 双方向のやりとりが可能なWE 具体策として 「巻.com」

> たっては、 ターがサイト運営を市から受託 が構想されました。その事業化にあ 事務局も担うことになりました。 いしのまきNPOセン

できます。 士コミュニケーションを取ることが たり、サイト内で「巻.com人」同 om人」と呼ばれます。「巻.com 人」はサイト上で自ら情報を発信し 「巻.com」に登録した人は「巻.c

だ五〇〇人強にとどまっています。 ことを目指していますが、 まずはその数を五〇〇〇人に増やす すことが差しあたっての目標です。 現在はこの「巻.com人」を増や 現状はま

石巻の魅力、 再発見

増やす手伝いをすることになりまし 生ボランティアが「巻.com人」を ア体験として、地元石巻出身の高校 夏ボラ体験2013」のボランティ るるが主催する「NPOで高校生の 回 NPO法人杜の伝言板ゆ

魅力を、

石

とで、 と高校生は感想を話しました。 せました。「街の人と直に接するこ 面白さに気づくことができました_ らない石巻の街、 店街を取材。サイトにレポートも載 をし、自ら「巻.com人」として商 校生たちは「巻.com」のPR活動 八月十八日、十九日の二日間、 普段、車で通るだけでは分か そこに住む人々の

ます。

目されてい

m」が今注

幸いです」と話しています。 生かせる経験をしてもらえていれば という場で何かを感じとり、将来に 事の木村正樹さんは、受け入れた高 校生ボランティアについて「NPO のまきNPOセンター専務理

今回の活動で高校生が再発見した

NPO法人いしのまきNPOセンタ (巻.com事務局) 986-0822 石巻市中央2-

て「巻.co めの場とし 共有するた 全ての人が 巻に関わる

ノボックスピア1F TEL/FAX: 0225-98-8070 E-mail: info@is-maki.com URL: http://is-maki.com



▲スタッフの伊藤聖子さん(左)と商店街を取材して回る高校生たち

Save Japanプロジェクト 干渇の小さな生き物たちに会いに行ごう 2013 7/4

自然は大きな被害を受けました。仙 録し続けてきました。 鳥類を中心とした生物調査を再開 を行ってきた「蒲生を守る会」(以下、 台市宮城野区の蒲生干潟も同様です。 し、干潟の被害状況と回復過程を記 「守る会」)は、震災直後の四月から 東日本大震災によって、 一九七〇年から干潟の保全活動 海岸域の

戻してきています。 は震災前の九十%に到達しました。 その後徐々に増え、一年後の五月に は以前の約半分に減少しましたが、 干潟は、少しずつ以前の姿を取り 例えば鳥類の種類数は、 震災直後

震災後、初めての生き物観察会

法人日本NPOセンターが協働でS PO法人杜の伝言板ゆるる、NPO た。今回の観察会は、「守る会」とN 災後初めての観察会が開かれまし が、この夏、通算で一七七回目、震 然観察会は震災で中断していました めに「守る会」が長年開催していた自 蒲生干潟の素晴らしさを広めるた

> う」を企画し実現しました。 潟の小さな生き物たちに会いに行こ AVE JAPANプロジェクト「干

昨年に続いての取り組みです。 を行うプロジェクトで、宮城県では 本NPOセンターが協働で取り組む 環境団体やNPO支援センター、日 より、全国四十七都道府県の各地で 日本興亜損害保険株式会社の協賛に 「いきものが住みやすい環境づくり」 トは、株式会社損害保険ジャパンと SAVE JAPANプロジェク

生き物たちの息吹を感じる

月四日、一歳から七十七歳まで総勢 九十四名が観察会に参加しました。 し、三つのグループに分かれての実 「蒲生干潟の生物観察シート」を使用 梅雨明けの晴天に恵まれた、

使って泥の中の生き物を探すグルー とができました。一方、シャベルを 下に振るチゴガニのダンスを見るこ まりにいたヤドカリや、 干潟表層の調査グループは、水た はさみを上

> す。 と保護者の方からのうれしい感想で すっきりして、とても良いですね. からないことも多く、専門家のみな さんのおかげで子どもたちの疑問も に尋ねていました。「親だけではわ は何ですか?」と守る会のスタッフ らない生き物がいると「この生き物 を発見。シートを見ても名前が分か プは、珍しい二枚貝やゴカイの仲間

見学しました。 察を行い、被災状況と回復の様子を を歩き、渡り鳥や海浜植物、 三つ目のグループは、干潟の周囲

魚類三種類が報告されました。 にも鳥類十二種類、海浜植物四種類 類を確認することができました。他 震災後初めて発見された貝類(二種 計し、結果を報告。 今回の調査では た生き物の種類を特定、種類数を集 守る会スタッフは、参加者が捕まえ その後、一同、テント前に集合。 を始め、希少種を含む二十三種

がありました。 害を防ぐなど、さまざまなサービス から、「干潟は水をきれいにする天 を提供してくれています」との解説 水や空気を供給し、気温を下げ、災 然の浄化場、稚魚を育てる天然の養 北大学大学院生命科学研究科助教 最後に、講師の鈴木孝男さん(東 大変重要です。また、 そして渡り鳥の国際空港とし きれいな

魚の観

とを学んだ有意義な一日でした。 かった」という感想が聞けました。 取り組みを聞くことができて、 の目で生き物を見たり、 トでは、九月末に震災で被害を受け SAVE JAPANプロジェク 参加者と主催者、ともに多くのこ 震災からの ょ

SAVE JAPANプロジェクト2013

たちがどのように自然

ぼす影響や、今後、

私

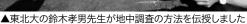
回は、急速に進む復旧 ツアーを行います。 た海岸域の自然を巡る

次

工事が海岸の自然へ及

を考えたいと思いま と共存していくべきか

: http://savejapan-pj.net



話を聞いた参加者からは、「自分

0 開 交!!

みやぎNPOプラザ

このページは、みやぎNPO プラザからのお知らせです。

開催しています。 基礎を学ぶ講座『NPO夜学』を開催 わるきっかけが作れるよう、夜間に 校に行きながら)でも市民活動に関 や社会人を対象に、働きながら(学 してきました。この講座は、学生層

聞かれました。 てきました。特に多くの参加者からは ケートからは満足度の高い感想を得 「社会の役に立ちたい」という言葉が 参加者は毎回定員を超え、アン

われています。 するために数多くの市民が寄付を 年は、東日本大震災の発生を受けて と呼ばれています。そして二〇一一 路大震災の年が「ボランティア元年_ れたことから「NPO寄付元年」とい 被災者・被災地の生活と復興を支援 し、更には寄付の優遇税制が拡充さ 日本では、 一九九五年の阪神・淡

通して社会貢献』を提案します。 の選択肢として、『NPOでの活動を る」ことは、 「社会を良くする」「社会に貢献す みやぎNPOプラザでは、ひとつ 個人でもできることです

十月より毎月開催します!

けや繋がりを作ることができる場を 流を深め、 まで毎月 NPO夜学は、十月から翌年二月 回 市民活動に関わるきっか 参加者同士がより交

年より年一回、平日の夜にNPOの みやぎNPOプラザでは、二〇一〇 開催します。現在予定している(都 合もあります) 合により、メニューは変更になる場

◎ 十月

て必要なことなどを学びます。 との関係や、活動を始めるにあたっ お答えします。また、ボランティア NPOって何? という疑問に

◎十一月 NPOを立ち上げる 〜実践者に聞く①

くことで、その生き方に触れます。 かけや日々奮闘している様子を聞 としている方を招き、活動のきっ 実際にNPOを立ち上げ、 職業

◎十二月 働きながらNPO 実践者に聞く②

仕事と両立する秘訣、忙しくても 関わっている方をゲストに招き、 関わり方を探ります。 個々の生活にあった市民活動との NPOに関わる理由などを聞き 働きながらNPOや市民活動に

月 ける方法 一緒に活動する仲間を見つ

市民活動に関わることは、

決して

ることが、何より重要です。そんな のが「人」。市民活動を始めるため 活動初期に抱える課題として多い せないのは「人」「物」「金」。中でも 共に行動してくれる仲間を見つけ でもなく、 には、友達でもなく、仕事の同僚 市民活動を継続するうえで欠か 想いも責任も共有し

作ることを願い、毎回違うテーマで ◎ 月 ゙仲間づくり゙の秘訣を探ります。 多様な分野のNPOで活動

NPOと出会う! ワールドカフェ

NPOとボランティア

を求めています! NPOはあなたの情熱と経験

てください。

の活動ニーズに合致する団体があ フェ形式で聞いてみます。あなた たらいいのかなど、ワールドカ

れば、是非その活動に参加してみ

されています。 ること。今こそあなたの行動が期待 化する社会の課題に目を向け、 て、今よりも住みやすい社会に変え 一人一人の小さな努力や意識によっ 市民活動とは、目まぐるしく変

りません。仕事で 探してみませんか。 との関わり方を とは一味違う社会 を見つけて、仕事 ちょっとした時間 している方々も、 忙しい日々を過ご 特別なことではあ 【NPO夜学】10月~2月 第1回 10月16日(水) 19:00~21:00

マ「NPOとボランティア」

みやぎNPOプラザ

仙台市宮城野区榴ヶ岡5
非営利活動法人杜の伝言板ゆるる)

ランティアを必要としているの ミッションや活動内容、どんなボ

市民活動を始めるにはどうし

ている実践者を数名招き、

団体の

管理者:特定非営利活動法人柱の伝言板 **022-256-0505** -256-0533 npo@miyagi-npo.gr.jp

やぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです

みやぎNPO情報ネット http://www.miyagi-npo.gr.jp/

申 各相談要予約

込 定員3団体(先着)

毎週水曜日

各相談 13:00~17:00 (1団体あたり約1時間)

会計・税務相談

経営相談

設立•運営相談

無料

9/27(金)

NPO相談

10/17(木)

助成金情報

※詳細については、それぞれの ホームページ等の要項をご確 認ください。

第3回 夢屋基金

●助成対象:子ども健全育成、環境保全、災害救援、発展途上

国支援の分野における活動

●対象団体:法人格取得後1年以上の活動実績を有する団体

●助成金額:原則として一件あたりの上限50万円以内(10件程度)

●助成期間:2013年11月~2014年10月までの間に行われる事業

●募集締切:9月19日(木) 消印有効 ●連 絡 先:公益財団法人公益推進協会

〒105-0004 東京都港区新橋6-7-9

新橋アイランドビル2階

TEL: 03-5425-4201 FAX: 03-5405-1814

E-mail: info@kosuikyo.com

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成(第12次)

●助成対象:東日本大震災で被災された方を支援するボランティア

活動等全般

日本全国の被災者の避難先、原子力発電所事故に 伴う住民の避難先における活動も対象とします

●対象団体:被災地をはじめ、全国で東日本大震災の被災者へ

の救援・支援活動を行うボランティアグループ、 NPO法人、社会福祉法人、学校法人、公益法人等 ※5名以上で構成されている団体であること

●助成金額:活動期間によって異なります

・短期(おおむね1ヶ月未満):50万円以内

・中長期(1ヶ月以上):300万円以内

※応募額が100万円以内であって、一定の条件を 満たす団体については、助成決定後、決定金額

の全額の一括送金を可能とします

※一定の条件を満たす団体については、1回1000万

円までの応募も可能

●助成期間:平成25年8月20日(火)以降の活動について対象となります

●募集期間:9月10日(火)~9月25日(水) 必着

●連 絡 先:社会福祉法人中央共同募金会

企画広報部(ボラサポ担当)

TEL: 03-3581-3846 FAX: 03-3581-5755

E-mail: support@c.akaihane.or.jp

平成25年度 公益信託「仙台銀行まちづくり基金」

●助成対象:以下に該当する、県内における「まちづくり」に必要な環境整備などの活動や調査研究。東日本大震

災からの復興支援に関する助成申請を含みます。 1)快適で文化的なまちづくりに必要な環境整備な

ど実践活動

2)まちづくりのために必要な調査、研究、情報提供

3) 東日本大震災復興に向けたまちづくり活動

●対象団体:営利を目的としない活動を行う団体・個人

●助成金額:1件あたり上限30万円

●募集締切:9月末日

●連 絡 先:三井住友信託銀行 仙台支店

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-1-7 「公益信託仙台銀行まちづくり基金」係

TEL: 022-224-1144 仙台銀行 企画部企画課

〒980-8656 仙台市青葉区一番町2-1-1 「公益信託仙台銀行まちづくり基金」係

第9回 TOTO水環境基金

●助成対象:日本国内および海外で行われる以下の活動

TFL: 022-225-8258

・地域の水と暮らしの関係の再生または新しい文 化の実現に向けた実践活動

100天坑に凹りた天成泊到

・地域の水と暮らしの関係についての調査研究活動

●対象団体:地域(日本国内)に根差した活動をしている団体、 または日本国内に本部を有し、海外に支部等を有

する団体で、営利を目的としない市民活動団体(法 人格の有無や種類を問わない)

●助成金額:1件につき上限80万円(総額約1,300万円を予定)

●助成期間:2014年度中に行われる活動・事業

●募集締切:9月30日(月) 消印有効

●連 絡 先:TOTO株式会社 TOTO水環境基金事務局

〒802-8601 北九州市小倉北区中島2-1-1 TEL: 093-951-2224 FAX: 093-951-2718

平成26年度 社会的弱者、障害児(者) を対象とした活動に対する助成金

●助成対象:(1)社会的弱者、障害児(者)の医療、自立、福祉向

上を目的とした各種のボランティア活動 (2)上記に関連する機器、施設の改善、備品購入資金の援助 ※特に児童を対象とする直接的支援プロジェクト

を重視します

●対象団体:非営利法人、慈善団体

●助成金額:審査により承認された額

●募集締切:9月30日(月)

●連 絡 先:一般財団法人日本メイスン財団

〒105-0011 東京都港区芝公園4-1-3

TEL: 03-3431-0033 FAX: 03-3578-8440

URL: http://www.tma-japan.org

平成26年度 日本万国博覧会記念基金助成金

●助成対象:万博の成功を記念するにふさわしく、かつ公益的な次の活動

1)国際相互理解の促進に資する活動

国際文化交流、国際親善に寄与する活動

学術、教育、社会福祉、医療及び保健衛生に関

する国際的な活動

自然の保護その他人間環境の保全に関する国際

的な活動

2) 文化的活動

日本の伝統文化の伝承及び振興活動 芸術及び地域文化に関する活動

●対象団体:事業を遂行するに足る能力を有する、公益的な事

業を実施する非営利団体

※営利団体でも実行委員会などを組織する場合は可 (国及び地方公共団体を除く、法人格の有無は不問)

●助成金額:1)100万~3,000万円(事業形態により異なります)2)50万円~100万円(1・2合わせて総額約1億円予定)

●助成期間:平成26年度内に実施する事業

●募集締切:9月30日(月) 消印有効

●連 絡 先:独立行政法人日本万国博覧会記念機構 総務部基金課

〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園1-1

TEL: 06-6876-5581

★第3回「家族に寄り添う一被災した家族支援」

日時:11月16日(土)

場所:仙台市民会館 第二研修室

講師:長谷川啓三氏(東北大学大学院教育研究科教授)

※講座終了後に会員登録ができます

●参 加 費:無料

催:仙台市カウンセリング研究会 ●主

●連 絡 先:TEL:022-706-5257(菅原、17:00以降) TEL: 022-275-4423(藪、17:00以降)

うぅーん?分かった!といえるパソコン 講座(東松島市講習)

「さぁこれからパソコンを使ってみよう!」「パソコンを使っ ているけどちょっと?」パソコンを使うと思わぬところで… そのような方向けに、パソコン講座を開催しています!

時:9月22日(日) 10:00~15:00

> ※悪天候や会場予約状況によっては変更する場合があります ご心配の方は事前にお問い合わせの上、申し込みください

所: 東松島市老人福祉センター(小松字上浮足252-3) ●場

●参加費:1,000円

●申込方法:下記連絡先までお問い合わせください

催: NPO法人ばざーる太白社会事業センター(略称ビートスイッチ) ●連 絡 先:TEL:070-5320-8928、022-292-7160

FAX: 022-292-7162

もしものときの勉強会 28 「エンディングノート」について学ぶ会

もしもの時に備えて「エンディングノート」について学びま す。特にシングルの方で家族がいない方や、子どもが小さな シングルマザーなど、まだ遺言や葬儀のことは考える必要は ないけれど、何かあったときの連絡先や保険・銀行口座など を知らせる手段を考えておきたい…そんな方向けの勉強会で す。シングルで無い方の参加も大歓迎。

時:9月28日(土) 10:30~12:00

所: NPOこころの休憩所 sawa's cafe

(仙台市青葉区上杉2-4-21 リバーシティ上杉101)

●定 員:8名

●講 師:森田みさ氏(よつば司法書士行政書士事務所代表)

●参 加 費:2.000円(ドリンク付き) ●主 催:NPOこころの休憩所

●連 絡 先: sawa's cafe

〒980-0011 仙台市青葉区上杉2-4-21

リバーシティ上杉101 TEL/FAX: 022-797-5114 E-mail: sawas_cafe@love.plala.or.jp URL: http://www13.plala.or.jp/sawas_cafe/

北京JAC仙台設立15周年記念 29「なぜ、女性議員が増えないのか!」

女性議員の割合は、衆議院が世界最低のレベルのままであり、 政策決定の場である「議会」の女性の進出は低位置です。「な ぜ、女性議員が増えないのか!」前衆議院議員として活動さ れた小宮山さんに社会情勢を話していただき、共に考え、誰 もが安心して暮らせる社会となるために、私たちの今後の活 動のありかたなど学び、実践に結びつけたいと思います。

時:9月29日(日) 13:30~15:30 ●日

●場 所:エル・パーク仙台 スタジオホール

(仙台市青葉区一番町4-11-1 141ビル6階) 容:なぜ、女性議員が増えないのか!を共に考える

●講 師:小宮山洋子氏(前衆議院議員)

●参 加 費:無料

催:北京JAC仙台 ●主

●連 絡 先:FAX:022-284-7474

●内

シングルマザーのための就労応援 Office2010初級講座

資格がなくても学んだスキルは使える、活かせる。4日間で Word、Excelの基礎を一通り学習し、履歴書やビジネス文 書を作成する初級講座を実施します。パソコンに不慣れな方 にも、女性講師が丁寧にサポートします。

時:4日連続 初級講座

> 各日10:00~15:30(昼休み1時間) ①10月1日(火)~10月4日(金) ②10月11日(金)~10月14日(月)

※①と②は、同じ内容です

●場 所:エル・ソーラ仙台 研修室(仙台市青葉区中央1-3-1) ●内 容:★Word 基礎、文字入力、文書作成、表作成 ★Excel 基礎、データ入力、数式入力、表作成、表印刷等

> 象:仙台市内にお住まいの母子家庭のお母さん、寡 婦の方(各コース全日程参加できる方)

●定 員:各講座14名

●受講料:無料(ただし、テキスト代2,000円別途要)

児:要申込(6か月~未就学児)

●申込締切:9月20日(金)必着 ●申込方法:下記連絡先まで申込

●連 絡 先:公益財団法人せんだい男女共同参画財団

仙台市母子家庭相談支援センター

TEL: 022-212-4322 FAX: 022-268-3911

情報をお待ちしています

○申込方法:問合せ先を明記の上(初めてご利用いただく団体は団体概要 も添付)、FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。 掲載は無料です!

○締切:毎月15日(翌月10日以降開催・締切となる情報を掲載します) ○誌面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せは事務局まで。 ※申込みいただいた情報は「みやぎNPO情報ネット」にも提供いたします。

NPO法人杜の伝言板ゆるる

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6 TEL:022-791-9323 FAX:022-791-9327

e-mail:npo@yururu.com

みやぎの NPO・市民活動を支援する Web サイト 「みやぎ NPO 情報ネット」

http://www.miyagi-npo.gr.jp



NPO 法人杜の伝言板ゆるるが宮城県と協働で運用 する、みやぎの NPO・市民活動を支援する Web サ イトです。ボランティアやスタッフの募集、講座・ イベントのお知らせ、助成金・行政情報など、市 民活動・NPO に役立つ情報が満載です。

問い合わせは、info@miyagi-npo.gr.jp まで



仙台市シニア活動支援センター

まちづくり・コミュニティづくりの活動に興味・関心がある 方への個別相談会です。

●日 時:9月21日(土) 10:00~16:00

時間内で1人当たり50分程度

所:仙台市市民活動サポートセンター 3階 ●場

(仙台市青葉区一番町4-1-3)

●専門相談員:青木ユカリ氏(コミュニティ・ワークス代表)

象:おおむね55歳以上の方で、下記の希望がある方 ●対

・市民活動や地域の活動に、興味・関心のある方

・まちづくり・コミュニティづくりの活動につ いて知りたい方、また参加したい方

・シニアの活動団体や活動事例を知りたい方 など

員:5名(個別相談、グループも可/先着順) ●定

●参 加 費:無料

●申込方法:名前、年齢、自宅か勤務先の連絡先(住所、電話

番号、FAX、E-mail)、申込みの動機や相談した いことを明記の上、FAXまたはTELにて申込

●主 催:仙台市シニア活動支援センター

●連 絡 先:(担当:小林・葛西)

〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-3 仙台市市民活動サポートセンター 3階

TEL: 022-217-3983 FAX: 022-217-3984



ショートピース!仙台短篇映画祭

9月21日(土)~23日(月・祝)にせんだいメディアテークに て開催される『仙台短篇映画祭』、今年のテーマは「越境」。あ らゆる世代、世界、表現を駆け抜けていく、さまざまなプロ グラムをご用意いたしました。ぜひお越しいただき、作品や イベントを楽しんでいただければと思います。

時:9月21日(土)~23日(月・祝) 10:00~19:30(23日は20:30まで)

●場 所: せんだいメディアテーク(仙台市青葉区春日町2-1)

●内 容:※詳細は、仙台市内・宮城県内各所で配布され

ているチラシや、仙台短篇映画祭のWebペー ジ、Facebookページをご覧ください

●チケット:【前売券】

3プログラム回数券2,500円(100セット限定) 全日フリーパス4,000円(30セット限定) ※MOOSIC LABへの入場は別途チケット(1,000円)が必要です

1プログラム券1,000円、小学生以下800円 豊齢手帳・障害者手帳をお持ちの方と付き添い の方1名まで800円

●プレイガイド:8月26日発売(前売りのみ)

・KANEIRI Museum Shop 6(せんだいメディアテーク1F)

·e+(イープラス)

●主 催:仙台短篇映画祭実行委員会

〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1

せんだいメディアテーク7F 企画・活動支援室内

E-mail: info@shortpiece.com

URL: http://www.shortpiece.com/

Facebook: https://www.facebook.com/

shortpieceSendaiShortFilmFestival

※引き続き、当日のボランティアスタッフを募 集中です。お問い合わせは、上記メールアド

レスまでお願いいたします。



9 / NPO法人全国障害者生活支援研究会 仙台セミナー 21 本人中心の支援を進めよう

~誰もが地域で暮らし続けるために~

東日本大震災のような状況下では、障がいのある方に対して より多くの支援、また日常的な支援の継続が必要であること を実感させられました。このたび、仙台つどいの家の復興に 敬意を表して仙台でセミナーを開催します。

時:9月21日(土) 12:30~16:30

●場 所:仙台市宮城野区文化センター パトナシアター

(宮城野区五輪2-12-70)

●内 容:下川和洋氏(NPO地域ケアさぽーと研究所・東京)による 講演『いのち輝くとき~どんなに障がいが重くても意思を

尊重した支援を~』ほか、実践報告、シンポジウムなど

●参加費:2,000円(サポート研会員は1,000円)

員:180名(定員に達し次第締め切り) ●申込方法:9月14日(土)までに下記連絡先へTEL

●主 催:NPO法人全国障害者生活支援研究会

●連 絡 先:社会福祉法人つどいの家

TEL: 022-293-3751



薬理学者から市民への伝言3 -薬物治療について~

「なぜ薬は効くの?」「薬の副作用って?」薬に関する知識を学びましょう。

●日 時:連続講座 各日13:00~18:30 ①9月21日(土)②9月28日(土)

※連続講座のため、2回とも受講できる方を募集

●場 所: 仙台市市民活動サポートセンター 6階 セミナーホール (仙台市青葉区一番町4-1-3)

●講 師:柳澤輝行氏(東北大学大学院医学系研究科教授)

●定 員:80名(先着順)

●受講料:無料

●申込締切:9月13日(金)

●申込方法:下記HPより、申込用紙をダウンロードし、FAX、

メール、郵送にて申込

メールでの申込の場合は、件名に「サテライト

キャンパス申込み」と明記

●連 絡 先:東北大学 教育・学生支援部 教務課教育支援係

TEL: 022-795-3925 FAX: 022-795-7555 E-mail: qsc-sc@bureau.tohoku.ac.jp URL: http://www.tohoku.ac.jp/japanese/

2013/07/event20130731-01.html



平成25年度 カウンセリング・オープン講座 共に学びませんか。こころ・心

自己の内面に気づき、青少年のこころに寄り添い、健全育成 や地域社会に貢献できる学びを深めていきましょう。

容:時間すべて13:30~15:30

★第1回「生活ストレスと緊急時のストレス対応について」

日時:9月21日(土)

場所:仙台市福祉プラザ 11階

講師:若島孔文氏(東北大学大学院教育学研究科准教授)

★第2回「こどもの心を理解する」

日時:10月19日(土)

場所:仙台市福祉プラザ 11階

講師: 宮前理氏(宮城教育大学教職大学院教授)

るけど、セーターはちょっと無理…という方、歓迎します。"編 み物で被災地に笑顔を咲かす"そんな活動に参加しませんか?

時: すべて木曜日 9月12日、19日、26日 $13:00 \sim 15:00$

●場 所:仙台市シルバーセンター(青葉区花京院1-3-2)

●内 容:活動紹介(編み物お茶っこのみって?)、編み物で小物作り

●講 師:高野文江氏(Joli crochet主催)

●対 象:編み物を通したボランティア活動に興味のある方

●受講料:500円(用具、材料込)

員:15名(先着順) ●定

●申込方法:氏名、住所、TELを明記の上、下記連絡先まで申込

●主 催:公益財団法人仙台市健康福祉事業団 ●連 絡 先:シルバーセンター交流啓発係

TEL: 022-215-3170 FAX: 022-215-4140

福祉型民事信託セミナー 「成年後見と福祉型民事信託」

かけがえのない子どもたちの未来を万全に!年をとっても、 病気になっても、一人になっても、望むとおりの生活ができ るようにするために、安心して暮らし続けられるために、今 必要なことをお伝えします。

●日 時:9月13日(金) 13:30~15:30

●場 所:宮城県障害者福祉センター (仙台市宮城野区幸町4-6-2)

●講 師:遠藤英嗣氏(蒲田公証役場公証人)

●対 象:障がいをもつ子の親

●参加費:無料

●主 催:一般社団法人後見人サポート機構

●連 絡 先:NPO法人童里夢

〒989-3212 仙台市青葉区芋沢字青野木520 TEL: 022-394-6150 FAX: 022-394-6163

地域住民による手づくり演劇 「わがまち ながまち 愛のまち~長町青物市場物語」

開設当初から廃止、存続の危機にさらされた長町青物市場は、 地域住民・関係者の汗と涙が深く刻み込まれています。このこ とが未曽有の大震災から必死に立ち上がろうとしている広範な 人々への熱いメッセージとなるだろうと期待されています。

時:9月14日(土) 18:30開場

9月15日(日) 10:00、14:00開場

●場 所:太白区文化センター 楽楽楽ホール

●入場料:(前売り)高校生以上1,500円、中学生以下1,000円 (当日)高校生以上1.700円、中学生以下1.200円

●主 催:仙台市、長町まざらいん、NPO法人劇団仙台小劇場

●連 絡 先:長町まざらいん

〒982-0011 仙台市太白区長町1-5-20 TEL: 022-249-5454 FAX: 022-248-8633

せんだい地球フェスタ2013 15 ひろげよう、心のとびら!つながろう、世界と。

多文化共生、国際交流、国際協力の活動をしている団体が仙 台国際センターに集合!世界の様々な文化が体験できる一日 です。世界のおいしい料理や、民族衣装の試着体験、ステー ジパフォーマンスなど楽しい企画が盛りだくさんです。是非、 お友達や、家族を誘ってお越しくださいね。

時:9月15日(日) 10:00~16:00

所:仙台国際センター ●場

> ※フェスタ当日は無料シャトルバスが運行します 仙台駅前(青葉通りプラザ前)発、 仙台国際センター着

※国際センター地下駐車場(有料)は数に限りがあります

容:★世界の歌や踊り ★地球屋台村

★講演会・報告会・写真展

★物品販売(ワールドバザール)

★体験・ワークショップ

★参加団体の活動紹介

★在住外国人によるスピーチコンテスト ※内容は変更になる場合があります

●参 加 費:無料

●お 願 い:せんだい地球フェスタは、地球にやさしいイベ ントを目指しています。マイ箸・マイカップの 持参や公共交通機関の利用にご協力ください

●主 催:せんだい地球フェスタ実行委員会 ●連 絡 先:〒980-0856 仙台市青葉区青葉山

仙台国際センター内

TEL: 022-265-2480 FAX: 022-265-2485

E-mail: festa@sira.or.jp

URL: http://senfes2013.jimdo.com/ Facebook: https://www.facebook.com/

SendaiWorldFesta

NPO法人の設立を新しく申請した団体 宮城県等所轄分7月11日~8月10日							
	団 体 名	所在地	活動内容	受理日			
宮城県等	NALUの会サポー トセンター	栗原市	被災地への支援物資の配布、復興のため の事業の企画・立案、被災地でのイベン ト開催等	7/17			
仙台市	やまとの絆	青葉区	高齢者等向け賃貸住宅経営事業、非行少年・ 引きこもり・不登校児への自立支援事業、高 齢者等の自立支援に関する普及啓発事業等	7/24			
	仙台傾聴の会	青葉区	傾聴活動事業、支援人材育成講座等の 研修事業、会報の発行等の啓発事業等	7/25			
	あおぞら	青葉区	各種スポーツ等の普及振興事業、各種スポーツ等の振興を促進するための人材育成事業、各種スポーツ等に関する相談・支援・協力事業等	7/29			
	クラップス	太白区	スポーツ教室等の企画、運営によるスポーツ 振興及び地域活性化推進事業、トップアスリー トの発掘・育成・支援事業、チアリーディング 及びフィットネスのインストラクター派遣事業	7/31			

Ν	IPO法人に認証さ	れた団	体 宮城県等所轄分7月11日~ 仙台市所轄分7月11日~	
	団 体 名	所在地	活動内容	受理日
宮	女川ネイチャー ガイド協会	牡鹿郡 女川町	女川町の森林を保全し、観光資源として 活用していく活動	7/17
城県	FMあおぞら	亘理郡 亘理町	FM放送などのコミュニティメディアを活用し、地域の活力増進とコミュニティの活性化を図る活動	7/25
等	夢未来南三陸	本吉郡 南三陸町	地域住民への通所介護事業・障害福祉 サービス事業や子育て支援事業等	7/26
仙台	福寿	若林区	高齢者、障害者に対する共同住宅の提供 及び生活支援を行う事業、福祉、介護に 関する調査、研究、相談及び啓発に関す る事業、その他、この法人の目的を達成 するために必要な事業	7/22
市	宮城県車いす ダンス協会	泉区	車いすダンス指導員の養成事業、車いすダンスに関する講演会、講習会の企画運営事業、車いすダンススポーツ競技会の企画運営事業等	7/23

736R

宮城県等所轄:338団体 仙台市所轄:398団体 8月10日現在

婚外子差別にNo!電話相談

親が結婚をしているかどうかで、子どもを差別することは人 権侵害です。私たちは婚外子差別撤廃の実現に向け、電話相 談を昨年より毎月開催し、当事者の方から毎回声が寄せられ ています。わからないこと、疑問に思っていることなど、多 くの皆さんの声をお待ちしています。

相談電話番号:042-527-7870

※相談は無料ですが、電話の通話料金はご負担ください

時:9月26日、10月24日、11月28日、12月12日 ●日

毎回14:00 ~ 20:00

※毎月第4木曜日、12月は第2木曜日

催:なくそう戸籍と婚外子差別・交流会 ● ` ●連 絡 先: E-mail kouryu2-kai@ac.auone-net.jp

】みんな de 集まる手しごとワーク ショップ「マカロンを作る会」

お気に入りの生地を使って、可愛いマカロンを作ります。作 品ができたら、テーブルを囲んでのおしゃべりタイム。ゆっ たり楽しい時間をすごしましょう。

時: すべて木曜日 9月5日、12日、19日、26日

午前の部10:00~12:00 午後の部13:00~15:00

●場 所: 亘理町字中町22(WATALIS工房隣の白い箱型の建物)

●講 師:小川百恵氏、齋藤真奈美氏(手しごと愛好家)

●定 員: 先着20名

●参 加 費:無料

●申込方法:電話、もしくはWATALISに直接お越しいただいて申込

催:宮城県亘理町てしごとプロジェクト、一般社団法人WATALIS ● Ì

●連 絡 先:TEL:0223-35-7341

大切な人を亡くした方の わかちあいの会

わかちあいの会では、ご遺族同士が、喪失による悲しみ、怒り、 辛いお気持ち等を、静かに語り合います。日常生活で語れなかっ たことを、ご遺族同士でわかちあっていただく安心な場所です。

時: すべて14:00~16:30

> ★石巻会場(毎月第2日曜日) 9月8日(日) 場所:カリタスジャパン石巻ベース(石巻市末広町3-14)

※共催:NPO法人ライフリンク

★岩沼会場(毎月第2土曜日) 9月14日(土) 場所:岩沼市民会館 第2会議室(岩沼市里の杜1-2-45)

★仙台会場(毎月第3土曜日) 9月21日(土) 場所: 仙台市シルバーセンター(仙台市青葉区花京院1-3-2)

象:大切な方を亡くされた方(死因は問いません) ●対

●参 加 費:無料

●申込方法:不要 ※託児をご希望の方は事前にお知らせください

催:NPO法人仙台グリーフケア研究会

●連 絡 先:仙台市青葉区一番町4-1-3

仙台市市民活動サポートセンター内No.85

TEL: 070-5548-2186

E-mail: griefoffice@gmail.com

発見!節電セミナー 節電のカナメ LEDのイイ話

家庭の電力消費量を大きく左右する「照明」をテーマに、アイ リスオーヤマ株式会社でLEDの工夫満載のオフィスを見学し ながら、LED照明の節電のポイントをうかがいます。夏にご 家庭ですぐに実行できる"節電のコツ"も伝授します。

時:9月11日(水) 18:30~20:00 ●日

※7/12開催回と同じ内容です

●場 所:アイリスオーヤマ株式会社

(仙台市青葉区中央2丁目1-7 アイリス青葉ビル)

●定 員:60名 ●参 加 費:無料

●申込方法:氏名・ふりがな・電話・メールアドレスを明記の上、電話、FAX、メールにて申込み

催:せんだいE-Action2013実行委員会 ●主

●連 絡 先:公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク

TEL: 022-301-9145 FAX: 022-219-5710

E-mail: stop_gw@miyagi.jpn.org

東日本大震災被災者支援活動 編み物ボランティア養成講座 ~編み物お茶っこのみしましょう~

最近は、編み物してないけど大丈夫かしら…小さな物なら出来

かほく「108」クラブ通信 河北折込センター

新聞折込広告の特長は、暮らし お届けしてきました。これからも に欠かせない地域のきめ細かな買 広告主と消費者双方のお役に立ち、 い物やサービスなどの生活情報を、 比較的安い費用で迅速・的確に各続けていきます。 家庭へお届けできることです。

読者に毎日たくさんの折込広告を 血協力を継続していきます。

愛され、信頼されるための努力を

また、かほく「108」クラブ 河北折込センターは、河北新報 では子どもたちの応援や、路上生 グループの一員として1977年 活者の支援などの社会貢献を、そ に設立、東北6県をはじめ各地の して2009年から行っている献



▲河北折込センター本社=仙台市若林区卸町東3丁目

FAX: 03-3548-0512

E-mail: info@excellent-npo.net

URL: http://www.excellent-npo.net/index.

php/ja/1staward

こどもホタレンジャー2013活動参加団体募集!

ホタルなどの水辺にすむ生きものを通じて、豊かな水辺の環 境や健康な川の姿、水とわたしたちのくらしのつながりなど について、自分たちで考え、調べ、体験し、守っていく、そ れが「こどもホタレンジャー」です。この活動が全国に広がる ことを願い、活動に取り組む団体を広く募集します。

校● 象:下記の条件を満たしていること

> ・小学生、中学生の団体・グループおよびNPO/ NGOでこどもが中心に活動している団体

> ・ホタルや底生動物等、水辺に生息する生きも のの観察、保全活動を行っていること(ただ し、周辺の生きものや生息環境にも配慮した 活動であること)

> ・河川など水辺における活動を基本として活動 していること(学校などにおける水環境保全 に関する活動を含む)

彰:学校部門、団体部門にそれぞれ大臣賞、優秀賞、 ●表

奨励賞を選定

受賞団体は3月に実施される表彰式に招待

●応募方法:所定の申込用紙に記入の上、メール、FAX、郵

送にて申込

申込用紙はHPからダウンロード可能

●応募締切:12月16日(月)

●主 催:環境省

●連 絡 先:こどもホタレンジャー事務局

〒105-0012 東京都港区芝大門2-11-5 美和ビル3階 マルト東京オフィス内

TEL: 03-5776-0023 FAX: 03-5776-0379

E-mail: hotaru@maluto.biz

URL: http://www.env.go.jp/water/hotaranger.html

あなたの心によりそう「傾聴ボランティアの視点」

震災時、傾聴ボランティアの役割は、どのように行われたの か。被災者と傾聴ボランティアは、どのような心の交流があっ たのか。当会発足からの歩みを盛り込んだ活動の記録です。

格:送料込み600円(A4版104ページ)

●購入方法:下記口座に「活動記録集申込み」と明記の上、お

振込みください。

ゆうちょ銀行 口座記号番号 02220-8-134520

仙台傾聴の会

(みやぎNPOプラザでも購入可)

●編集・発行:仙台傾聴の会

.

●問合せ先:仙台傾聴の会(森山)090-6253-5640

E-mail: moriyama-e@tulip.sannet.ne.jp URL: http://blog.canpan.info/morimori/

はいせつのワンポイント個別相談会

いまや少子高齢化時代。65歳以上の3人に1人は、尿もれに 不安やお悩みを抱えていると言われています。この相談会では、 専門の相談員がご相談に乗るとともに、さまざまな下着や新し いおむつのご案内、また状態に合ったアドバイスを行います。

時:9月21日、12月21日、1月18日、2月15日、3月15日 ●日 基本第3土曜日、(1)13:30 ~か(2)14:15 ~

(相談時間約30分)

●場 所:国見地域包括支援センター内

(仙台市青葉区八幡4-2-1 早美ビル1F)

●定 員:各日2組限定(1組3名まで)

●参 加 費:無料

●申込方法:要事前予約。下記連絡先までご連絡ください。

※予約のない場合は閉館していることもありま

すので、ご了承ください。

●主 催:クーシュの会

●連 絡 先:TEL:022-353-6681 FAX:022-353-6682

E-mail: couches2010@yahoo.co.jp URL: http://couches.jugem.jp/

美しい音楽は健康へのパスポート 「Fonte合唱団」団員募集

Meister飴屋(80歳)に"若返り歌唱法"を学びませんか?

●指揮·指導: 飴屋善敏氏(音楽評論家・NPO法人創る村代表)

伴奏:佐々木淳英氏

●練 習 日:第1・3日曜日 16:00~18:00

●練習場所:宮城野区中央市民センター(音楽室)、

創る村福沢分室

宮城野区文化センター(音楽練習室2)のいずれか

●対 象:・高校生以上

・練習に継続的に参加できる方

●団 費:月2,000円

●申込方法:電話、メールにて申込。随時受け付けています

●主 催:NPO法人創る村

●連 絡 先:〒981-0413 東松島市新東名4-6-1

TEL: 0225-88-3793

E-mail: tsukurumura@ybb.ne.jp

ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2013.8.16現在)敬称略

●正 会 員 48名

★仙台市

NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター ●若生勲

●賛助会員 83名

●かほく「108」クラブ ●齋藤ツメ ★仙台市

●NPO法人とめ市民活動フォーラム ★登米市

★北海道 ●堀川泰浩

会員種類 年会費 正会員個人·NPO 10,000円 20,000円 正会員法人 3,000円 賛助会員個人 賛助会員NPO 5,000円 賛助会員企業·団体 20,000円

杜の伝言板ゆるるは、地域の課題を解決するために活動するNPOの継続的運営や、それに参加す るボランティアの育成を支援している団体です。特に1997年に創刊した月刊社の伝言板ゆるるは市民活動やボランティアをしたい市民、それを応援したい企業、行政、そしてNPOをつなぐ情報誌として広く活用されています。これからもNPOや参加する市民にとって役立つ情報を発信し、地域の生活環 境が向上するように活動していきますので、ぜひ、私たちの会員となって応援してください!!

> ■会員には毎月「月刊杜の伝言板ゆるる」が届きます。 ※正会員以外は、総会での議決権がありません。

郵便振替□座

口座番号 02250-0-43800

加入者名 特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる (会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。)

motors so to so the line de the coult of the extension

information

8月15日までにゆるる編集部に届いた情報です。 詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。



🅥 ボランティア情報 🔘

子どもたちに学びと笑顔を生みだす 「学習サポーター」大募集!

仮設住宅、みなし仮設で生活している子どもたちや被災に関 わらず経済的に厳しいご家庭の子どもたちを対象とした学習 会を仙台市内各地で元気に開催しています!子どもたちと一 緒に寄り添いながら勉強してくれる方を募集中です。

●活動内容:子どもを承認し、励ましながらの学習サポート

対象: 幼稚園~高校牛(活動拠点による)

●活動日時:毎週月曜~金曜日のいずれか。

18:00~20:30 ※拠点により前後有

●活動場所:(1)仙台港背後地6号公園仮設(JR仙石線中野栄駅徒歩10分)

(2)卸町5丁目公園仮設(仙台駅からバス20分)

(3)若林区新寺(仙台駅東口徒歩5分) (4)若林区中倉(仙台駅からバス20分)

(5)エル・ソーラ仙台(AER28階)

※ほか、太白区にも募集拠点があります ※拠点により、原付、車での移動も大歓迎

校 象:子どもと向き合い、子どもの成長を一緒に喜ん

でくださる方

・大学生、社会人の方

・週1回以上参加できる方 (毎週は難しい場合はご相談ください)

(3)~(5)はこんな方も大歓迎

・パソコンでインターネットやeメールを普段から 使っている方(eラーニングを導入した教室なの

でPC操作に抵抗がない方、歓迎です)

●その他:コーチング研修会やサポーター交流会など、定

期的に開催しております

●申込方法:興味のある方、直接団体までご連絡ください

●募集主体:NPO法人アスイク

●連 絡 先:(担当:和田)

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡5-3-21

コーポ小松101

TEL: 022-781-5576 携帯: 070-5621-8523

E-mail: info@asuiku.org URL: http://asuiku.org/

お 知

100万円の使い道 被災地復興支援アイデア企画大募集

2年にわたり、大阪で毎月開催してきた東日本大震災復興支 援チャリティーイベント「癒しフェア」において協力者の皆さ まからお預かりしたお金を被災地復興のために有効に使って 頂きたく、このたび、広くアイデアを募集することになりま

した。皆さま、ぜひご応募ください。

容:東日本大震災の被災地復興に寄与するアイデア 企画の募集

【重視するポイント】

人々の癒しにつながるアイデア

・将来にわたって継続性のあるアイデア

●募集締切:平成25年9月30日(月)17:00必着

●応募資格:どなたでもご応募できます

●応募方法:HPからダウンロードできる応募申込書【様式1】を

記入のうえ、下記連絡先まで郵送またはメールにて

●そ の 他:最終選考日は平成25年11月27日(水)

※詳細は一次審査通過者へ別途通知します

●主 催:ヒール・ザ・ワールド

●連 絡 先: 〒541-0044 大阪市中央区伏見町2-6-2

ネット伏見町201号室

東洋医学サロン シャンティ内「ヒール・ザ・ワールド」宛

E-mail: hisaichi.ni.iyashi@gmail.com URL: http://htw100.jimdo.com

「第2回エクセレントNPO大賞」募集開始

「『エクセレントNPO』をめざそう市民会議」では、非営利組 織の組織力としての脆弱性や市民とのつながりが希薄である 点に当初から問題意識を持ち、非営利の世界での社会変革 のモデルとなる望ましいNPOの要因を分析。その結果を「エ クセレントNPO」の評価基準としてまとめ、2010年に公開。 その普及活動に取り組んできました。年間大賞の表彰は、そ うした「エクセレントNPO」を目標にして非営利組織が競い 合い、その動きが市民に「見える化」されることで、市民社会 に大きな変化を起こすことを目指しています。多くの団体か らのエントリーをお待ちしています。

●応募資格:国内外における社会貢献を目的とした市民によ る日本国内のNPOやその他の非営利組織(法人

格の有無不問)※他薦も可

●審査方法:第1 ~第3次審査を実施し、選考の結果、最終的

な受賞団体を決定

彰:「エクセレントNPO」の基本条件である、「市民性」 ●表 「社会変革性」「組織安定性」に基づき、「市民賞」、 「課題解決力賞」、「組織力賞」の3つの受賞団体を 決定。受賞団体には、賞状、賞金(各賞50万円)を贈呈 ※また、各受賞団体の中から最も優れたNPOとし

て、「エクセレントNPO大賞」を決定します

●応募方法:所定の申込用紙に記入の上、FAX、郵送にて申

込(メールでの受付不可)

申込用紙はHPからダウンロード可能

https://www.mainichi-ks.co.jp/form/e-npo/

●応募締切:10月16日(水)23:59(郵送の場合は当日消印有効)

催:「エクセレントNPO」をめざそう市民会議

●連 絡 先:応募受付・審査進行管理

「エクセレントNPO大賞審査委員会事務局」 〒103-0027 東京都中央区日本橋1-20-7 言論NPO内 TEL: 03-3548-0511(平日9時半~17時半迄受付)



information Stabble Ctobbe

ボランティア・市民活動情報

◆ 〈ろうきん〉 は 「助け合い」 の金融機関。 働く人の暮らしと福祉、 社会の充実に取り組みます◆

宮城県との提携による低利な融資制度!!

をご活用ください!!

通勤用マイカー資金、 リフォーム資金等 はたらくみなさんをバックアップ



■宮城県生活資金■

ご利用いただける方

- ①住所か勤務先が宮城県内にある中小企業にお勤めの方
- ②原則満20歳以上で、勤続1年以上、前年税込み年収150万円以上の方
- ③当金庫の審査基準を満たされる方

お使いみち

- ①通勤用マイカー購入資金②住所移転費用③結婚・出産・療養・葬祭に要する費用
- ④納税に要する費用⑤住宅修理・付帯設備設置、災害復旧の費用
- ⑥介護機器等の購入費用⑦上記①~⑥をこの制度に借り換える費用
- (日常の生活費及び上記使途以外の借り換え費用にはご利用できません。)

ご融資期間

最高200万円 最長5年 (条件により1年以内の 元余程署期間合また)

年2.50%(固定金利)

当金庫指定の保証機関をご利用いただきますので原則不要です。 保証料は別途必要になりますが、保証料が補給される制度もあります。

お問合せ・お申し込みは〈東北ろうきん〉宮城県内の最寄りの店舗へ

000120-1919-62

「NPO 夜学 ⁄



市民活動に 関わって みたい!

社会に 貢献したい! 動きながら

と躊躇してしまっているあなた!

特技や経験を活かして、あなたにもできる社会貢献をNPOで見つけませんか? NPOはあなたの経験と若い情熱を待っています!

NPOやボランティアを始めるにあたっての基礎を学び、実践者から実際の活 動状況を聞いたり、毎月違うメニューで開催し、仕事だけじゃない新しい価値 観との"出会いの場"です。ぜひ、ご参加ください。

10月~2月 ▣

10月16日(水)

19:00~21:00

テーマ 「NPOと ボランティア 11月

「NPO を立ち上げる

〜実践者に聞く」

1月

「一緒に活動する 仲間を見つける方法」 12 月

「働きながら NPO 〜実践者に聞く」

2月

「NPO と出会う! ワールドカフェ」

[対象]

20~40代の社会人・学生で、 市民活動に関心のある方 など

会 場 みやぎNPOプラザ

定 員 各15名程度

参加費

1回1,000円(お茶菓子付)

主催:宮城県(みやぎNPOプラザ)

企画・実施: NPO法人杜の伝言板ゆるる



発行:特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6 TEL 022-791-9323 FAX 022-791-9327 E-mail npo@yururu.com URL http://www.yururu.com

三:大久保 朝江

発 行 日:2013年9月1日 発行部数:10,000部

刷:コマツ・コーポレーション

